

令和7年度青少年健全育成地区委員会連絡会（研修会） 情報交換会

令和8年2月6日（金曜日）の青少年健全育成地区委員会連絡会（研修会）では、モデル事例の発表に続いて、情報交換会を行いました。

「担い手作りと広報の工夫」をテーマに、ご参加の59人の皆さまに、12グループに分かれて話し合っていました。

どのグループも活発に意見を交わす様子が見られ、研修会終了後にご記入いただいたアンケートでは、「自分の地区の活動を考える上でとても参考になりました」「新しいアイデアが生まれた」「情報交換の時間がもっと欲しかった」等のコメントをいただきました。

当日の情報交換で交わされたご意見について、お預かりしたワークシートから何点かご紹介いたします。

情報交換会ワークシートより テーマ:担い手作りと広報の工夫

1 テーマに沿って自分たちの地域で、実施している地域活動を紹介しましょう。

<スポーツ>

- ・ふれあい運動会
- ・ネオアイスホッケー大会（小学生向け）
- ・野球大会
- ・ドッジボール大会 など

<イベント>

- ・2泊3日キャンプ（小学4年生～6年生対象）
- ・お祭り
- ・花火大会
- ・映画会
- ・キャンプ
- ・餅つき大会
- ・星空コンサート（小学生対象）
- ・たこあげ大会 など

<その他>

- ・ジュニアリーダー講習会
- ・あいさつ運動
- ・ボランティア活動
- ・交通対策運動
- ・防災勉強会
- ・文化部（高齢者とワークショップ、町歩き、町探検） など

2 地域活動における課題や、解決に向けた取組を共有しましょう。

<課題>

- ・若い世代の参加がない(受験のためなど)
- ・地区委員などに出てこない
- ・もともとの繋がりはあるが、発信方法がない
- ・スタッフ不足
- ・活動費の値上がり
- ・PTA自体が活動をしなくなっている
- ・同じ人ばかりでの活動になっている
- ・広報力に地域差が出てしまう など

<解決に向けた取組み>

- ・SNSを勝代する
- ・小・中学生のボランティア募集
- ・二次元コードの活用
- ・学校へ委員から事業説明
- ・小・中学校で配布されているタブレットへアイコンを置き周知
- ・活動内容をデジタル化
- ・中学生を活動の主体に持ち上げためのイベントの工夫
- ・保護者にも募集チラシを配布(学校を経由する)
- ・来るもの拒まずで声を掛ける
- ・地域に根付いている団体の協力を得る
- ・学校のHPにも活動をアップしてもらおう など

3 今後、地域活動に取り入れていきたい、担い手作りとは広報の工夫を考えてみましょう。

- ・運動会でやりたい競技・種目を小・中学生に考えてもらう
- ・中学生の参加をボランティア活動で活用してみる
- ・学校での依頼方法をSNSやタブレット端末等で配信を活用する
- ・二次元コードの積極的な活用
- ・自治体やPTA以外の大人にも活動が見えるよう、自分たちから声を掛けていく
- ・子供たちに会議に参加してもらい意見をもらう
- ・ボランティア団体へも声掛けを行う
- ・どこにも属していない人の参加も促す
- ・町会にも活動を広げていく
- ・若い世代に重要な役割を任せることで、次世代を育てていく
- ・SNSが難しいようであれば紙面での工夫をしていく など